

季のうた

土肥 あき子

むき出しだの地球ちきゅうの素肌すはだ潮しお干潟ひがた

中村なかむらひろ子こ

潮干潟は引き潮となつてあらわれる遠浅の海岸。この時期の大潮は干満の差が大きいことから春の季語とされている。はるかかなたまで広がる砂浜が、数時間前まで海底であり、砂の中や潮だまりには海の生きものが身をひそめている。「むき出し」とは覆われていたものが露出していることで、痛々しく傷つきやすいもの。しっとりと濡ぬ（ぬ）れた砂浜にそっと触れれば、静かな地球の息づかいがその手に伝わる。